



4/16 人形を通じて命の尊さを学ぶ  
「マーベル・ワレン」の日

青い目の人形「マーベル・ワレン」を通じて命の尊さを学ぶ授業が4月16日、浜岡北小学校3年生24人を対象に実施されました。人形は日米親善の証として旧朝比奈小学校に寄贈されたもの。戦時中に処分指示を受けましたが、用務員が命の大切さを思い、隠して守り抜かれました。同校では、平和を伝える学校の象徴として大切にされています。

◀市指定有形文化財でもある「マーベル・ワレン」に興味津々な児童



4/18-19 愛犬と青空の下でお買い物  
御前崎シーサイドピクニック開催

市商工会が主催する「御前崎シーサイドピクニック」が、4月18日から19日にかけてマリンパーク御前崎で開催されました。商工会員らによるグルメや物販が並び、富士山が見える芝生広場には愛犬が遊べるドッグランが併設されました。来場者は「他の飼い主さんや犬と交流ができ、楽しい一日でした」と話しました。

◀花柄の洋服を着せてもらい、嬉しそうな表情を見せる愛犬



4/21 「今すぐ動く」を当たり前に  
災害時に備え、職員参集訓練を実施

市は4月21日、大規模地震の発生を想定した職員参集訓練を実施しました。新年度の体制のもと、初動対応や災害対策本部の体制を確認するため、実践的な参集・伝達訓練を実施。朝6時50分に一斉メールで参集を呼びかけ、1時間以内に75.5% (213人)の職員が登庁しました。

今後課題を共有し、迅速な初動体制の確立に努めます。

◀抜き打ちの参集メールを受けて集まった職員



4/26 地域の未来を切り開いていく人材を育てる  
御前崎クエスト開講式を開催

地域の豊かな自然や文化について学ぶことで、豊かな人材を育成する事業「御前崎クエスト(ジュニアプログラム)」の開講式が4月26日に執り行われました。

ネイチャーゲームや海岸散策を実施し、まちの魅力を体感。海岸散策では、カツオノエボシやハリセンボンなどを発見し、参加者は海の生き物に興味を示しました。

◀26人が参加するジュニアプログラム

4/18-19 いちごの魅力味わう一日  
5品種が集まる「いちごセレクト市」開催



市内産の5品種(かおり野、恋みのり、スターナイト、紅ほっぺ、章姫)が集まる「いちごセレクト市」が4月18日から19日にかけて、道の駅風のマルシェ御前崎で開催されました。

パック販売に加え、量り売りや利きいちご大会が実施され、来場者は好みの品種を見つけながら、いちごの魅力存分に楽しみました。

新鮮ないちごが並び、多くの来場者でにぎわいました。

◀見た目と味でいちごの品種を当てる参加者

▼旬のいちごを購入する来場者



4/22 災害時は被災地支援へ  
被災地支援の車両提供制度を導入

市社会福祉協議会は、災害支援と平時の利用の両方を目的とした車両を導入しました。車両は、日本カーシェアリング協会とのリース契約により借り受けているものです。

車両は、平常時地域活動に活用されますが、全国各地で災害が発生した際には要請により協会に返却され、被災地へ支援物資として届けられます。

◀車両前でのレプリカキー贈呈



4/30 コツコツ練習することが上達の秘訣  
書きぞめ展受賞を市長に報告

砂本剛幸さん(大山)と清水陽那さん(大山)が、「第78回静岡県書きぞめ展西部地区」での受賞を4月30日、市長に報告しました。

出展総数7,947点の中から剛幸さんが静岡県知事賞、陽那さんが御前崎市長賞を受賞。賞状やトロフィー、作品を市長に披露しました。

◀2人は「今までがんばってよかった」と笑顔を見せました。



## 4/30 話して深まる、自分の未来 地域担任との面談を実施

「地域担任面談」が4月30日、浜岡中学校で実施されました。「地域担任」とは、まちで活躍している人が学校の先生として生徒と面談をし、生徒のコミュニケーション力の向上や郷土愛の育成につなげる取り組みです。

2年生180人は、自身の悩みや将来について、地域担任からアドバイスを受けました。

◀学校生活や進路について、地域担任と真剣に語り合う生徒

## 5/8 アカウミガメの産卵環境を改善し、自然を大切にする心を養う 御前崎中学校の生徒が亀バックホーム大作戦を実施



◀大きなごみに驚きながらごみ袋に入れる  
▼清掃活動に取り組んだ生徒



御前崎中学校で昭和45年から続く伝統行事の海岸清掃活動である「亀バックホーム大作戦」が5月8日、下岬海岸で実施され、全校生徒307人が活動しました。

アカウミガメが産卵しやすく、ふ化した子ガメが海へ向かいやすい環境を整えるため、毎年ビニールなどのごみを拾い、産卵環境の改善に努めています。全校生徒は、海岸を歩きながら清掃活動に汗を流しました。環境委員長の清水萌花さんは、「3年間亀バックホーム大作戦に参加して、少しずつごみが減ったように感じている。この活動を続けられてよかった」と話しました。



## 5/22 御前崎OB野球倶楽部、優勝 「寿野球」全国3連覇を市長に報告

5月10日に長野県で開催された「第51回寿野球全国大会」で優勝した御前崎OB野球倶楽部の大川修弘代表(左)、鈴木孝監督(中央)、富田好則主将(右)が5月22日、下村市長に優勝を報告しました。同倶楽部は3連覇を果たしました。

鈴木監督は、「プレッシャーが押し寄せる中、優勝できてホッとしている」と笑顔を見せました。

◀「苦勞した試合をもあつたが優勝できて良かった」と話す富田主将



## 5/1-5 海の安全を守り続ける灯台の祭典 御前埼灯台まつりを開催

御前埼灯台を守る会による御前埼灯台まつりが5月1日から5日にかけて、同灯台前広場で開催されました。

広場では、御前崎小学校5、6年生によるソーラン節やドリームメイトによるダンスが披露され、参加者や来訪者でにぎわいを見せました。資料館では、灯台の資料の展示で歴史を伝えました。

◀下村市長のギター演奏に合わせて元気よく踊るドリームメイト



## 5/11 尊い命に敬意を表し、感謝を込める ふ化しなかった子ガメの供養祭

子ガメ供養祭が5月11日、ウミガメふ化場で執り行われました。供養祭は、ふ化できなかった子ガメの供養と今後の保護活動の安全を祈願するものです。

ウミガメ保護監視員は、供養塔に静かに手を合わせ自然環境や生命の尊さについて思いを新たにしました。5月15日からウミガメの保護活動が開始されました。

◀命の大切さに感謝し、供養塔に手を合わせる保護監視員



## 5/14 環境について学び、実践するきっかけを作る 環境ミライ教室を実施

地球温暖化と市の現状を座学やワークショップで学ぶ「環境ミライ教室」が5月14日に御前崎小学校で実施されました。

御前崎小学校4年生29人が参加し、ごみ分別ゲームや使用電力を調べる「ワットチェッカー体験」などを通して、未来の環境を守るために日常で実践できる行動を学びました。今後、市内の全小学校4年生を対象に実施していきます。

◀扇風機の使用電力を調べる児童



## 5/22 市内商工業の発展に寄与 旭日単光章受章を市長に報告

5月13日に令和8年春の叙勲で「旭日単光章」を受章した株式会社河原崎配管の代表取締役である河原崎健司さんが5月22日、下村市長に受章を報告しました。

市商工会の会長や副会長などの役員を20年間歴任し、商工会運営に寄与したことが認められたものです。河原崎代表取締役は、感謝の言葉とともに笑顔を見せました。

◀市長は「長年の貢献に感謝します」と話しました。